

平成26年度事業報告

I 事業

中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の産業応用支援に努めたほか、創業や新たな事業展開に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中企業振興会館、名古屋市国際展示場などを管理運営し、利用率の向上に努めた。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	決算額	61,500 千円
---	--------------	-----	-----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・独立行政法人理化学研究所
「介護支援ロボットの研究開発」
「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
- ・公益財団法人名古屋産業科学研究所
「シリコンカーバイドの単結晶を用いた超硬工具の研究開発」
「半導体微細三次元計測の研究」
- ・公益財団法人名古屋産業振興公社
「テラヘルツ光技術の産業応用に関する研究」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	決算額	47,234 千円
---	----------------	-----	-----------

プラズマ技術産業応用センターにおいて、知的クラスター創成事業による研究成果等を活用し、中小企業の技術革新を進めるため、専門的知識・経験を有するテクニカルコーディネーター及びサブテクニカルコーディネーター等を配置し、名古屋市工業研究所の参画や関係大学の協力の下、中小企業等の技術相談やテスト処理・分析（可能性トライアル、外部資金を活用した研究開発等）など様々なニーズにきめ細かく対応し、また、プラズマ技術の情報発信を通して、プ

ラズマ技術によるものづくり技術の高度化の支援に努めた。

また、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業を会員としたプラズマが拓くものづくり研究会（略称「PLAM」）において、講演会等の実施によるプラズマ技術の普及啓発を推進した。

(1) プラズマ技術産業応用センターの運営

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口

専門的知識・経験を有する職員を配置し、企業からの技術相談に対応した。

技術相談 46社 233件

イ テスト処理・分析

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

機器利用件数 21社 1,371件

ウ 協賛員の募集

企業がプラズマ技術産業応用センターとの交流を深め、センターの持つ機能を活用した。

協賛員数 9社 12口

エ 可能性トライアルの実施

中小企業等のプラズマ技術応用に関する研究開発を企業の経費負担によって行い、技術的課題の解決を図った。

可能性トライアル数 12社 15件

オ プラズマ技術産業応用センター運営会議の開催

業界団体役員、有識者等を委員とした運営会議を設置し、プラズマ技術産業応用センター事業の戦略等について議論し、運営に反映した。

開催回数 2回

カ プラズマ技術産業応用センターの情報誌発行

PLAM会員及び関係機関の担当者に対し、プラズマ技術産業応用センター及びプラズマ技術に関する情報を年4回提供した。

(2) PLAMの運営

会員企業 360社

講演会開催 4回（うち実習2回）

参加者 延べ187人

3	共同研究事業	決算額	67,263 千円
---	--------	-----	-----------

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の運営管理及び研究開発を行った。

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業 (※経済産業省の補助事業)

- ・テーマ 「コンタクトプローブ耐久性向上のための表面処理及び微小部品用小ロットめっきシステムの開発」(平成26～27年度事業)

(2) 研究成果展開事業(スーパークラスタープログラム)

(※独立行政法人科学技術振興機構の委託事業)

- ・テーマ 「先進プラズマナノ表面改質技術・装置の開発」
(平成25～29年度事業)

4	研究開発促進事業	決算額	4,763 千円
---	----------	-----	----------

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 環境分野 資源循環型ものづくり研究会

開催 3回、参加者 105人

(イ) 医療・福祉・健康分野 ヒューマンインターフェイス研究会

開催 1回、参加者 64人

(ウ) 情報分野 N-c u b e

開催 2回、参加者 168人

(エ) ものづくり技術分野 CAEを活用したものづくり研究会

開催 1回、参加者 58人

イ 連携相談事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催等 2回

(2) 資源循環型ものづくりに関するシンポジウムの開催

開催日 平成26年12月10日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 168人

内容 特別講演会、事例研究の発表及び表彰、技術情報交流会

5	新事業創出支援事業	決算額	142,148 千円
---	-----------	-----	------------

(1) 相談、専門家派遣事業、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業の経営や創業等を支援するため、プロジェクトマネージャー等を設置し、窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。また、小規模企業担当マネージャーを配置し、厳しい経営環境に直面している小規模企業者の経営改善への取り組みに対する支援を行った。

相談企業 436社（個人を含む）

相談等延件数 1,117件

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業 60社

派遣回数 146回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 5社

派遣回数 28回

ウ 創業研修事業

中小企業向けセミナー&交流会

開催日 平成27年2月5日

場所 名古屋ビジネスインキュベータ白金

対象 中小企業の方等

参加者 39人（1部・2部の延べ参加者数）

内容 市内の4インキュベート施設が連携し、中小企業向けの経営戦略等に関するセミナー及びインキュベート施設の紹介を実施。

エ 中小企業外国出願（特許・意匠）支援事業

中小企業の海外への事業展開を支援するために、日本国出願に基づく外国出願費用を1/2以内で補助した。

出願件数 3件

オ 事業可能性評価委員会の運営

中小企業が行おうとする新事業の可能性について評価した。

事業可能性の評価 6社

なごやビジネスマッチング事業の対象企業の選定審査 4社

カ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市関係支援機関を中心に、各機関が連携・協力し、創業や新事業にかかる出前型のワンストップ相談及び関係施策のPRを行った。また、名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（22支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議を開催した。

名古屋市関係支援機関

- ・名古屋市中企業振興センター
- ・公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
- ・名古屋市工業研究所
- ・名古屋市信用保証協会
- ・公益財団法人名古屋産業振興公社

(ア) ワンストップ相談の実施日・場所

- ・ウェルフェア2014

(平成26年5月23日～25日 ポートメッセなごや)

- ・TECH Biz EXPO 2014

(平成26年10月22日～24日 ポートメッセなごや)

(イ) 名古屋市新事業創出連絡会議

あいち新事業活動促進連携会議と合同で開催した。

- ・担当者会議の開催 1回

(2) ビジネスマッチング事業

ア 大学発のベンチャー支援

地元の大学が主催する展示会に出展し、支援制度のPRをはじめ情報提供を行った。

- ・中部大学フェア

出展日 平成26年9月18日

イ ビジネスプラン募集・発表会の開催事業

創業間もない企業、個人等を対象に販路拡大や事業提携を支援するため、

事業計画を募集し、発表の機会を提供した。

なごや発ビジネスプラン募集・発表

プラン発表企業等 3社

発表会参加者 98人（公益財団法人あいち産業振興機構と共催）

ウ 中小企業見本市等出展支援事業等

市内中小企業者を首都圏・関西圏の見本市に出展させることにより、販路開拓を支援した。

出展支援企業 8社

(3) インキュベート施設の入居企業への総合的な支援

ア 技術・経営相談等支援事業

名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金の入居企業に対して、専門家への相談料や見本市への出展料等の補助を行った。

支援件数 46件

イ インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 28回

日常的な経営相談 215件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者の支援を行った。

ウ 創業準備ルームの開設及び運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、創業マネージャー等による研修及び相談支援を行った。

第7期・第8期入居者 24名

平成26年度創業者 14名

6	普及啓発・情報提供事業	決算額	121,699 千円
---	-------------	-----	------------

(1) 普及啓発事業

ア 市民向け啓発事業 (なごや・サイエンス・ひろば)

市民とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を開催した。

開催日 平成26年8月2日

場所 なごやサイエンスパーク内

(サイエンス交流プラザ、研究開発センター、先端技術連携リサーチセンター、独立行政法人産業技術総合研究所)

参加者 2,727人

イ 「ナゴヤファッションコンテスト2014」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日 第1次審査会 平成26年6月6日

最終公開審査会 平成26年9月18日

場所 第1次審査会 品川区立総合区民会館
(6階大会議室)

最終公開審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

応募作品 4,178点 (うち海外からの応募作品130点)

来場者 707人 (最終公開審査会)

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催 6回

参加者 延べ875人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活

かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供するため、講習会・講演会や会員交流会を開催した。

講演会・講習会	4回
優良企業の見学会・交流会	23回
他都市の先端企業の見学会・交流会	12回
会員交流会等	7回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「モーター用磁性材料」をテーマとした、ものづくり技術講演会を開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日	平成27年2月19日
場所	名古屋市工業研究所
参加者	202人

イ 工業技術グランプリ

開催日	平成27年2月19日
場所	名古屋市工業研究所
受賞企業	9企業

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料（約4万冊）を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者	3,089人
情報交流フロア利用者	9,886人

7	産業人材育成事業	決算額	29,159 千円
---	----------	-----	-----------

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の確保、熟練技能者の退職に伴う技能継承教育の推進、中小企業の技術開発力の強化のための研修・実習等を開催した。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習を行った。

電子回路技術研修など10コース 受講者 116社 137人

イ 中小企業技能者育成講座

技能の継承を支援するため、熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座を実施した。

鉄工技能士1級2級受検対策講座など3コース

受講者 32社・4学生・14個人 53人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、業種を問わず産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等を開催した。

「ものづくり支援講座」として6コース

ア 産業用ロボット作業者特別教育講習会

開催 年6回(奇数月隔月) 受講者 143社 213人

イ 現場管理者の生産管理技術(トヨタ生産方式)研修

受講者 19社 35人

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

受講者 28社 38人

エ 機械設計図面の書き方研修

受講者 11社 15人

オ 知的財産担当者養成講座

受講者(前期) 5社 5人

(後期) 6社 6人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

受講者 13社 16人

8	工業技術情報提供事業	決算額	5,827 千円
---	------------	-----	----------

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行った。

(1) 工業技術相談・指導

工業技術相談件数 9 件

(2) 新春講演会・懇親会の開催

開催日 平成 27 年 1 月 23 日

場所 キャッスルプラザ

参加者 135 人

(3) 情報提供

ア 先進工場見学会の開催

開催日 平成 26 年 12 月 17 日

場所 ヤマハ(株)掛川工場、本田技研工業(株)浜松製作所

参加者 29 人

イ 「技術のひろば」の発行

発行 2 回 発行部数 各 1,500 部

ウ 商品展示・カタログ展示

(ア) 商品展示

展示場所 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

展示企業 7 社

(イ) カタログ展示

展示場所 名古屋市中企業振興会館
名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや)
名古屋市工業研究所

展示企業 20 社 ※名古屋市工業研究所のみ 22 社

エ 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月 1 日、15 日頃配信

オ 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

※参考 賛助員数 284社（平成27年3月31日現在）

9	経済交流・誘致促進事業	決算額	6,548千円
---	-------------	-----	---------

(1) 見本市・展示会の開催・誘致

ア 第17回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2014～の開催

開催日 平成26年5月23日～25日

場所 ポートメッセなごや

出展者 124社・団体

来場者 70,228人

内容 福祉車両をはじめ、福祉用具、健康機器等の紹介・展示

イ 第2回中部ライフガードTEC2014

～防災・減災・危機管理展～の開催

開催日 平成26年5月22日～23日

場所 ポートメッセなごや

出展者 134社・団体

来場者 16,670人

内容 「東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議」の協力のもと、最新の防災・減災・危機管理に係る製品・技術・サービス等を一堂に展示紹介

ウ 第4回次世代ものづくり基盤技術産業展

－TECH Biz EXPO 2014－の開催

開催日 平成26年10月22日～24日

場所 ポートメッセなごや

出展者 216社・団体

来場者 20,995人

内容 次世代自動車・航空機・鉄道・医療機器・再生可能エネルギー産業などへ活かす新素材・最新加工技術・関連サービス等を紹介

(2) 外資系企業誘致促進事業

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、国・県、名古屋市を始め関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 9件

10	関係団体事務受託事業	決算額	2,598千円
----	------------	-----	---------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員
テクノプラザナゴヤ91 会長 浪速金液株式会社 代表取締役 林 雅史 氏	林 盛彦 氏	19社
テクノプラザナゴヤ08 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝 氏	山下 菊丈 氏	29社
テクノプラザナゴヤ001 会長 アサヒ繊維工業株式会社 代表取締役社長 浅井 耕治 氏	愛知学院大学 教授 岩田 憲明 氏	21社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気株式会社 代表取締役会長 萩原 義昭 氏	株式会社三進製作所 相談役 福田 正 氏	22社

(2) 各種研究団体

- 中部生産加工技術振興会
- 中部塗装技術研究会
- 中部歯車懇話会
- 中部溶接振興会
- 名古屋テキスタイル研究会
- 日本カム工業会
- 鍍金技術研究会

11	管理運営を行う産業振興施設	決算額	1,209,209 千円
----	---------------	-----	--------------

(1) 展示施設

施設名	利用件数	利用日数
名古屋市中小企業振興会館		
吹上ホール	80件	263日
第1ファッション展示場	94件	230日
第2ファッション展示場	85件	212日
名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)		
第1展示館	35件	100日
第2展示館	60件	173日
第3展示館	76件	213日
デザインホール		
	142件	246日

(2) 研究開発・支援施設

- ア 名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金
名古屋ビジネスインキュベータ 入居22社
(平成27年3月31日現在)
- 名古屋ビジネスインキュベータ白金 入居37社
(平成27年3月31日現在)
- イ サイエンス交流プラザ
インキュベータ入居 7室 (平成27年3月31日現在)
大会議室利用 28件
中会議室利用 90件

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	決算額	58,870 千円
---	----------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館及び名古屋市国際展示場の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、両館で開催されるイベント案内を掲載したイベントカレンダーの印刷を行った。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品

名古屋市中企業振興会館	35,972 千円
名古屋市国際展示場	40,378 千円

自動販売機収入

名古屋市中企業振興会館（19 台）	13,367 千円
名古屋市国際展示場（30 台）	28,606 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	決算額	85,020 千円
---	-------------------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。

II 庶務の概要

1 理事会

第1回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成26年4月1日
	議案	(1) 評議員会における理事の選任について (2) 重要な職員の任命について
第2回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成26年4月1日
	議案	(1) 専務理事の選定について
第3回	期日	平成26年5月27日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 平成25年度事業報告及び決算報告について (2) コンプライアンス体制の整備について (3) 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
	報告	(1) 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	期日	平成26年6月16日
	議案	(1) 理事長の選定について (2) 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について (3) 常務理事担任意務規程の一部改正について (4) 常勤理事の平成26年度の報酬額について
第5回	期日	平成27年3月23日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 平成27年度事業計画案及び収支予算案について (2) 常勤理事の平成27年度の報酬額について (3) 組織及び事務処理規程の一部改正について (4) 常務理事担任意務規程の一部改正について
	報告	(1) 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況の報告について

2 評議員会

第1回	期日	書面により評議員会の決議があったものとみなされる日 平成26年4月1日
	議案	(1) 理事の選任について
定時	期日	平成26年6月16日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 平成25年度計算書類等の承認について (2) 理事の選任について (3) 評議員の選任について (4) 理事長の報酬に係る業績評価委員会委員の選定 について
	報告	(1) 平成25年度事業報告の内容報告について

3 理事長の報酬に係る業績評価委員会

第1回	期日	平成27年1月27日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議題	理事長の報酬に係る業績評価